



# 学校だより

## 救の原



21年5月11日  
牧の原小学校

5月11日(月)朝会で

### どんぐりパワーってすごい

伊勢湾でクルマエビ養殖が盛んな秘密



校長 森上 章

今週13日(水)の給食は子どもの日にちなんでの特別献立です。「エビフライ」もです。皆さんは、エビフライ好きですか。

このエビの絵は、クルマエビです。クルマエビは、エビの中でも高級なエビです。愛知県のクルマエビの水揚げ高は、全国の中でいつも上位に入っています。全国でクルマエビの養殖を最初に始めたのは、愛知県だそうです。今ではクルマエビは、愛知県の「県の魚」になっています。

愛知県ですと長くクルマエビが盛んに育てることができるには、あの秘密があるのです。では、その秘密とは、何だと思いませんか？

クルマエビが盛んに養殖されている愛知県の海の水が、とてもいいのです。愛知県の海の水は、どこから流れてきますか。川ですね。木曾川や矢田川・庄内川です。川の水は、山がある上流から流れてきます。木曾川や矢田川・庄内川の上流の山の方には、ドングリの仲間の木がたくさんあるのです。山で雨が降ります。雨の水は、ドングリの木に降りかかると、水質がとても良くなるのです。ドングリの仲間の木に降り注いだ水が、上流・中流・下流と流れ、そして、伊勢湾や三河湾に流れていきます。

伊勢湾や三河湾の水が、クルマエビや魚にとってとてもいい水になっている秘密は、川の上流の山に植わっているドングリのパワーだったのです。

#### 【保護者の方へ】

名古屋でも「黄砂」が観測されることがあります。中国やモンゴル国の砂漠から黄砂が上空の風に乗ってやってきます。単なる自然現象ではなく、過放牧等が原因で急速に進んでいる沙漠化が引き起こす環境問題となっています。中国も懸命に沙漠緑化に取り組んでいますが、なかなか成果がありません。

日本からもたくさんの団体が沙漠緑化に向けて懸命に尽力しています。植林している木の中で「ドングリ」が重用されています。



[ コナラ ]

### 学校・学級新聞

優秀賞 森上 章校長(牧の原小)

## ユニークなテーマ満載



毎週月曜に全校児童に配布する「学校だより牧の原」の記者として、四年間一人で記事を書き続けてき

た。森上さんは「続けてきたかたいがありました」と喜びを隠さない。

毎回のテーマは「一万円札はバナナから？」などユニーク。「通り一遍の内容では、子どもたちは読んでくれないんです」と打ち明ける。児童たちの「えっ？」を求めて、取材に二カ月を費やすことも。定年を迎えた森上さんは「寂しいですが、楽しく書かせてもらいました」と振り返る。